

平成31年度 行政評価事業別シート

	実計対象 ■	評価対象 ■	新規 □	完了事業 □	ゼロ予算事業 □	担当者	堀内理恵
	全体計画			経費区分	実施計画事業費	内線	3248
事務事業名	4123 防犯対策事業						
所 属	120500 市民環境部・市民課						
施 策	03021600 地域安全対策の推進						
予算科目	会計	01 一般会計					
	科目	020111 総務費・総務管理費・交通防犯費					
	事業	030000 防犯対策事業					
事業目的				事業概要・効果			
「犯罪のない、安全安心なまちづくり」を目指して関係機関と連携し、各種防犯活動を実施する。				日頃の散歩を通じたまちの見守り活動が定着し、あいさつも自然に交わされ、防犯パトロールや防犯指導が効果的に行われる等、地域の中で自主防犯意識が高まっている。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
刑法犯認知件数 198件 警察署等と連携した啓発活動 市防犯灯のLED化 区が行う防犯灯設置事業への補助	刑法犯認知件数 199件 警察署等と連携した啓発活動 市防犯灯のLED化 区が行う防犯灯設置事業への補助
平成29年度 実績	平成30年度 実績
警察署等と連携した啓発活動 市防犯灯のLED化 区が行う防犯灯設置事業への補助	警察署等と連携した啓発活動 市防犯灯のLED化 区が行う防犯灯設置事業への補助
平成31年度 予定	令和2年度 予定
警察署等と連携した啓発活動 市防犯灯のLED化 区が行う防犯灯設置事業への補助	警察署等と連携した啓発活動 市防犯灯のLED化 区が行う防犯灯設置事業への補助

指標名	市内での犯罪発生件数				
算式	須坂警察署での集計による				
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標値	目標				200
	実績	190	245	192	
指標選定の理由	地域ぐるみの見守り活動など地域のつながりを強め、市民のみなさん・地域・行政が一体となり犯罪を未然に防ぐまちづくりを目指すため				
最終年度目標の根拠	平成26年度実績値の25%減を目標値に設定				
指標名					
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成30年度 決 算	平成31年度 予 算
事業費		9,023	10,482
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		9,023	10,482
人員数(人)	正規職員	0.6	0.5
	嘱託職員	0.0	0.1
	臨時職員	0.6	0.2
人員コスト	正規職員	4,290.0	3,575.0
	嘱託職員	0.0	287.5
	臨時職員	747.0	249.0
	計	5,037.0	4,111.5
市民一人当たりの経費		0.3	0.3
総額		14,060.0	14,593.5

(単位：千円)

平成30年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	2,178	防犯パトロール用帽子58、防犯灯電気料1,709
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	1,969	防犯灯LED化工事1,969
19節 負担金補助及び交付金	4,766	須高防犯協会負担金1,732 防犯灯設置事業補助金(区)2,984
その他	110	駅前防犯カメラ保守点検料73 他

(単位：千円)

平成31年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	2,378	防犯パトロール用腕章、マグネットシート90 防犯灯電気料1,800
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	3,166	防犯灯LED化工事2,000、防犯カメラ設備更新工事1,166
19節 負担金補助及び交付金	4,784	須高防犯協会負担金1,734 防犯灯設置事業補助金(区)3,000
その他	154	駅前防犯カメラ保守点検料109 他

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果(施策の目指す理想)に結びついているか 	高い
評価コメント	警察と協力して、住民の防犯意識を高めて犯罪等が起きにくい地域にしていくことが重要である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	犯罪発生件数は減少しており、機会をとらえての啓発活動は有効である。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	他団体と協力したり、広報や隣組回覧などを利用して啓発を行っていく。	

振り返り(決算年度の取組み課題)

引き続き、地域の中の自主防犯意識を高めるため、支援や情報提供を行いながら、地域の見守り団体への必要性を説明していく。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>事業を継続して推進する必要がある。 防犯灯LED化整備のための補助については、各区への配分が少なく例年拡大の要望が強くある。計画的なLED化を推進するためには予算拡大も必要。</p>		<p>防犯灯の全町LED化の推進・促進と市民ボランティア（地域安全サポーター、防犯指導員）との自主防犯パトロール見守り事業は継続していく必要がある。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	